

JAIF

国際結婚を考える会

Japan Association of Intercultural Families

会報誌第**10**号 www.kokusaikazoku.com/
jaif@kokusaikazoku.com

【特集】 『世界各国事情』



Page	CONTENTS	
	【特集】 『世界各国事情』	
3	● 「サバーイサバーイなタイ国チェンマイから」	山内陽子（会員）
6	● 「サンフランシスコの教育事情・小学校編」	鳥山ミデイ（会員）
11	● 「リトアニアのジャガイモ事情」	三好 郁也（会員）
14	● オーストラリアでの私の日本食事情	高山しの（会員）
17	● 海外便り スイスに暮らせば	シュトッカーかほる（会員）
19	● 米南東部の都アトランタから	マロニー名子（会員）
25	● スウェーデン、現金が使われない日常	オロフソン優子（会員）
28	◀ 国際家族のレシピ紹介 ▶ おひとり様レモンカード	やよい（会員）
30	Culture Crossing おすすめMovie	東 奈央 （協力会員）
34	JAIFイベント報告	イベント係
35	編集後記 次号予告	会報係

「サバーイサバーイなタイ国チェンマイから」

*サバーイとは気持ちいい、快適という意味

山内陽子（会員） タイ チェンマイ在住

カナダ人の夫との間に生まれた娘の国籍選択などの不安から1989年に京都で入会し活動にかかわる。以降、バンクーバー、神戸で暮らしてきたが、7年前からタイと石川の2拠点生活を継続中。

チェンマイはどんなところ？

チェンマイはタイ北部に位置し多くの寺院や旧跡がある古都です。28万人ほどの人口ですが1262年からのランナー王朝の首都としての歴史と森、山、水田など自然環境に大変恵まれている事からバンコクにつぐ第2の都市と言われています。日本からバンコクは6時間、バンコクからチェンマイへは空路で1時間ほど、2月からは関空ーチェンマイ間に直行便が飛ぶので便利になります。

どんな所か一口で言えば、チェンマイは都会の利便さと田舎の自然環境のバランスが絶妙なトカイナカ。ほぼ毎日、大きな空は晴れわたり、四方に山々が連なり、鳥の鳴き声も聞こえ、雨季には南国の花々や木々が輝きます。時がゆったり流れているのでスローライフが好きな人にはピッタリの場所。



ロックモリー寺院

都会派の人はバンコクだろうけど、私のような老体にはここのゆったりした空気感が居心地いい。近代的なショッピングモールもあるスーパーでは日本食材も買える。また外食文化が根付いているのであちこちに屋台はじめ多国籍レストランがあり超便利。そして、万が一、体の不調や怪我した場合でも日本語対応の病院もあるので安心です。

チェンマイが世界中からのロングステイヤーに人気の訳

タイといえば1年中暑い？ですよね。ですがチェンマイは海拔300mで年間気温が27度前後と過ごしやすく、特に乾季（11月～1月）は平均気温が25度程で湿度も低く国内での避暑地になっています。そしてこの時期は特に北半球から避寒してきた外国人で溢れます。

私達もここに移住してから7年経ちますが、その内の2年はコロナで日本に足止めで（会報誌3号コロナ禍での国際家族の真実参照）戻ってこられず、約5年滞在しています。この3年で日本人は7百人ほど減少したようですが、私を含めて在留届を出さない人も多く現在は2千人程ではないかと言われてます。

「サバーイサバーイなタイ国チェンマイから」

*サバーイとは気持ちいい、快適という意味

山内陽子（会員） タイ チェンマイ在住

私の住むコンドにもカナダ、オーストラリア、アメリカ、南アフリカ、イギリス、香港、ドイツ、他、子供連れの日本人赴任家族もいて、とてもインターナショナルな顔ぶれです。また、タイ語や英語は不得手でも日本人コミュニティも幾つかあり、スポーツや趣味、学習、アクティビティなどその気になれば孤独になることはありません。

チェンマイの魅力はそんな温暖な気候とそして自国よりも暮らしやすい生活費だと思います。とはいえこのご時世アジアのどの国もインフレで全て値上がりしていますが、贅沢品を除けば日本や先進国に比べ住居費、光熱費、食料などが割安なのは間違いありません。先月、USAから来た娘がネイルサロンにいき、ドル換算で1/3ほどの料金で丁寧にやってもらい大変感激していました。チップはもちろんはずんだそうです。

そういった国の経済力の相違により私を含めた外国人達は多くの恩恵を受けて居心地良く生活をさせて頂いている訳です。一例で言えば、女子3人でランチに行って数品食べても計2500円程。フットマッサージも250バーツ（1000円）で1時間ゆったりと施術を受けられるのでとても有り難いです。因みにタイ北部の平均月収は7～8万ほどと言われていますが、それも仕事により格差がありなんとも言えません。



モン族刺繍の針山

民族の多様性に富んだチェンマイの街

他、暮らしてみてもわかった事ですが、この街はとても多様性に富んでいるということを感じています。というのも周辺の山岳地帯がミャンマーやラオス国境に接しているため、モン族、カレン族、ヤオ族、アカ族、リス族、ラフ族などの少数民族の方達が多く住んでいます。彼らは山から降りてきて市場の露店などで野菜などを売り生計を立てているらしいのですが、特に1世の方々はタイ国籍がなく市民IDで暮らしているようだと聞きました。

現状ではタイには50万人の無国籍者がいて4分の1がチェンマイ近郊に住み、市民登録すれば教育、仕事、医療などの福利を受けられるのにまだまだとのこと。数年前、ラオス国境近くのシャン族の僻村に行く途中、軍検問所が2か所あり、無国籍者や密入国者、麻薬密輸などを取り締まっていると聞きましたが、市民登録が進まないのは独自の民族や文化に誇りがあるからか情報を知らないのかそれは知る由もありません。

「サバーイサバーイなタイ国チェンマイから」

*サバーイとは気持ちいい、快適という意味

山内陽子（会員）タイ チェンマイ在住

当初、彼らの独特の民族文化に魅了されて、手工芸品などの販売で少しでも自立支援の応援が出来たらと日本の各所に紹介したりしていました。先日、久々にカレン族のお店を訪ねたらこの3年で制作の仕事は壊滅し、皆、再び農業に従事して暮らしていると聞いて胸が痛くなりました。

“マイペンライ”でおおらかな人々に囲まれて



最後にチェンマイの方々の気質についてですが、「サバーイ」と「マイペンライ（大丈夫）」そのものです。

電線が束になってブラ下がっていても、道やお寺などに犬が数匹うろついていても、道路がボコボコでも、車やバイクの数が半端なく多く交通事故率は世界で10番以内でも、マイペンライで実におおらかというかのんびりしています。

モン族村の女の子達

そして敬虔な仏教徒の方が殆どで、1バツでもお釣りを間違えても声をかけられ返してくれます。善行をしてタンブンする「徳」をたくさん積みめば幸福になり後世もいいことがあるという輪廻回生を心の底から皆さん本当に信じておられるようです。レディボーイさん達も公務員としても普通に働いているそんな懐の広い『ダイバーシティ』のチェンマイへ機会があればぜひ一度訪れてみてください。



タイ舞踊の練習風景

「サンフランシスコの教育事情・小学校編」

鳥山 ミデイ (会員) サンフランシスコ在住

三重県出身。高校生の頃、ヘビメタバンドでギターを担当。留学のため1991年に渡米。ロサンゼルスに3年住んだ後、大学に転入するためサンフランシスコに移住。卒業後はバイエリアIT業界で働く。家族はテキサス出身の夫、息子と猫。趣味は多肉植物とロッククライミングをすること、サッカー・格闘技観戦。



異国での教育制度は未知数ばかりです。アメリカ・サンフランシスコ（以下SF）での小学校入学において、昭和の日本で育った親が面食らった数々の「ナシ」体験談をいくつかをご紹介しますと思います。

★ 学校区ナシ (公立小学校入学は運試し・抽選制)

アメリカの他の地域では、日本でお馴染みのように学校区というコンセプトがあり、居住している地域の行政から割り当てられた学校に入学するところが多いようですが、私たちの住むSF市では、我が家の息子が就学する年では抽選制度が導入されていました。その制度の主な理由は様々な多様性を保ち公立学校及び市内を均等化するという目的でした。

万が一希望の公立学校に入れなかった時のために、滑り止め対策として私立を受験する世帯も多いようです。ちなみに参考文献によると、2022年12月現在ではSF市内には72の公立と、90の私立小学校が存在しています。



★ 入学式・始業式・全校朝礼ナシ

我が家も様々なプロセスとドラマがありました。晴れて息子も第一志望の小学校に入学しました。さて、いよいよピカピカの一年生、入学式だ！ところがそんなものは「ナシ」であるという事が判明。

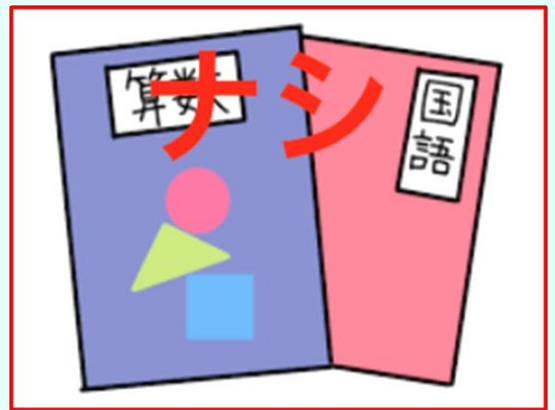


アメリカでは式典の類は極力少なめらしく、あるといえば卒業式ぐらいでしょうか。息子の入学した学校でも、感慨深い一年生の入学日だと言うのに学校前に到着したら車から降りて「バイバイ」というアッサリしたもので、昭和育ちの母は、勇敢にひとりで学校に吸い込まれて行くわが息子を所在なげに見守ったのであります。ついでに付け加えると、休みの後に始まる新学期の始業式や朝礼なども「ナシ」です。

★ 教科書ナシ

さて、いよいよ一年生の授業が始まります。どんなことを授業で学んでいるのだろう？教科書を見せてもらおう、と楽しみにしていたら、いつまで経っても家には何も持って帰って来ない・・・

教科書は？と息子に聞いたら「そんなものはない」という冷たい返事が。授業は先生が用意したプリントをベースに行われている様子です。



★ 宿題ナシ

教科書がなくても宿題があるよね・・・それで大体、何を勉強しているか分かるはず。と思っていたら、なんと息子の学校では3年生まで宿題はありませんとのこと。毎日、算数、漢字ドリル、日記と一年生の頃から宿題がどっさり課されていた昭和の母は再度、魂消ることになります。3年生になった時に宿題が開始されたのですが、その量も微々たるもので、こんなんで本当に頭に入ってる？とまたまた母は面食らう事に。

★ 給食ナシ



学校によっては、非常に羨ましい事にカフェテリアが校内にあつたりして給食が出るところもあるらしいのですが、残念ながら息子の学校ではナシでしたので基本的に毎日、お弁当を持参します。

カフェテリアが校内に無い代わりに、息子の学校では近所のカフェと提携

してオンラインでオーダーして、ランチ時間に学校に配達してもらえるオプションがあります。(割高なので我が家ではあまり利用しません)

★ 連絡帳ナシ

先生と親とのコミュニケーションは基本的にはメールが主です。学校を休む時、早退・遅刻予定、体育などを休む時なども、先生にメールで一筆送って終わりです。

★ 家庭訪問ナシ

平成や令和の状況は分かりませんが、私が小学生の頃は先生が家庭にやってきて親子と話をするという「家庭訪問」なるものが存在しました。ある日の放課後に先生がやってきて、母がいそいそとお茶とケーキをお出しして家庭の様子や学校での話をしますが「先生が家に来る」という子供ながらに非日常感を味わったのを覚えています。アメリカの学校では、この制度がある学校のことは聞いたことがありません。

★ 先生・保護者面談の日は授業ナシ

とはいえ、先生と親が面談するという機会は存在します。日本のように、平日の放課後に親が学校に行くのかな?と思いきや、年2回、2日間の「保護者面談の日」なるものが設けられており、両日とも全校、全学年授業はお休みになります。

★ 授業参観ナシ

ついでに挙げると、日本の学校であるような通常授業の様子を親が学校にきて参観できる、というシステムも息子の学校ではありません。親が学校に招かれる機会は、学校行事の時のボランティアかシャペロン(付き添い人)が必要な時、または学芸会などのみです。

鳥山 ミデイ (会員) サンフランシスコ在住

★ プール授業ナシ

日本の小学校にはほとんどの地域でもれなくプールが学校設備として存在しており、プール授業があるように記憶しています。平均最高気温が22°C くらいのSFではもちろんのことですが、プール授業の季節と夏休みが重なるので、暑い地域でもアメリカにはいわゆるプール授業というものが存在せず、プールがない学校がほとんどです。



数年前の夏に、息子と日本に行った際、実家近所の小学校に体験入学をさせて頂いたのですが、息子は授業の一環としてクラスメイトとプールに入るということにびっくりしていました。

こうやって数々の「ナシ」を挙げてみると、日本の小学校というのは本当にきめ細かい教育をしてくれていたのだな、と実感しました。



授業風景



カリフォルニア科学アカデミー見学旅行

日本語教育について

私は息子が生まれた時から極力、日本語で話す様に心がけて来ました。私の復職のタイミングに合わせて、息子は1才の時に近所のデイケアに入園したのですが、1日中英語の環境だったためか、日本語は理解しているけれど返事は英語、という状態が続いていました。そこで3年ほどお世話になった後、日本語バイリンガルのプレスクールに入園しました。驚いたのが、2週間後には返答も日本語でするようになり、環境の重要性を再確認しました。SF市内には日本政府が運営している日本語補習校があります。息子はキンダーの時に受験したのですが「不合格」になってしまい入学することは出来ませんでした。アクセントのない日本語でちゃんと会話できるのに何故?と不思議に思いました。

鳥山 ミデイ（会員） サンフランシスコ在住

テスト内容は受験生には公式には明かされていないのですが、後に「受験中に、発言する前に手を挙げなかったり、もじもじしたり、足をブラブラさせたり、自分の名前をフルネームで日本語で名字から先に書けないと不合格」などという話を多数の経験者から聞いて、その理不尽な合格基準に大きな疑問は持ちつつも、なるほど、それはうちの息子は無理だと思いました。

後に補習校に行っているご家庭から「宿題も行事も多く、親も子供も大変」「都道府県を漢字で全部覚えなきゃいけない」などと言う話を多数聞いて、それはどのみち我が家のライフスタイルには合わなかったな、と思いました。

それでも日本語は続けて馴染んでもらいたかったなので、小学校入学した7歳くらいの時からオンラインで週1で日本語の家庭教師をお願いして、緩い日本語教育を続けることにしました。その時に先生に「日本語教育の目標は何ですか」と聞かれたので、「とりあえず日本語のドラえものの漫画を自分で読んでゲラゲラ笑えるようになることです」とお答えしました。私は最初から、彼が日本の現地の子供達と同じレベルで日本語を学んで行くことは日本に住んでない限り不可能だ、と言う考えでしたので、そんなに大きな野望は持っていませんでしたし、今も持っていません。

最初はアニメを見せて心を掴み、その後に単行本を買い与えました。最初は私が読み聞かせしているばかりでしたが、だんだんと自主的に本を開いて「見る」ようになり、そしてとうとう10歳になり自らでもなんとか「読める」様になって来ました。

ある日、「ママ、ちょっとこの部分読んでみて・・・チョー面白いから！」と息子がニヤニヤしながら日本語のドラえもん漫画を持って来た時、とても嬉しかったです。また日本に行った時に、私の夫と母の間に入り通訳することも出来るようになったので、私の「ゆるゆるセミリンガル教育」はとりあえずの目標は達成して来ている・・・と思っています。



「リトアニアのジャガイモ事情」

三好 郁也（みよし ふみや）（会員）東京在住

広島県三原市出身。現在は東京都に住んでいます。
年齢は29歳。大学時代、留学生だったリトアニア人の女性と出会い、交際を始めました。
日本とリトアニアでの1年半の遠距離恋愛を経て、現在は入籍準備をしています。
広島と東京での2拠点生活をしています。
Twitterアカウント【ふみや 北欧ワイフとの日常】で国際恋愛で学んだ働く価値観について発信しています！



どうも、三好ふみやです。オーダーメイドで製作した結婚指輪が届きました～！初めて身につける結婚指輪にソワソワです。婚姻要件具備証明書の発行のために絶賛バタバタ中です笑。

今月のテーマは【各国の世界事情】ということで、リトアニアについて書いてみます。2020年の年末、リトアニアを初めて訪れた私の記憶に一番強く残っているのがジャガイモです笑。なので、今回はリトアニアのジャガイモ事情について紹介しますね！

※家族プリクラ 日本にて！

「リトアニア人奥さんはジャガイモでできている。」



僕がリトアニアを訪れたとき、食卓にはジャガイモのメインディッシュに加えて、ジャガイモのおかず、そしてジャガイモのスープが並びました。寒い国はジャガイモを食べると聞いていましたが、さすがにここまでジャガイモに囲まれると驚きです！

ジャガイモ料理はめっちゃめっちゃ美味しかったです。日本では、ジャガイモの表現として『ホクホク』という表現を使いますが、日本で食べる5倍はホクホクでした。

◆ Šaltibarščiai

シャルティバルシチャイ

「私が平和について思うこと」

三好 郁也（みよし ふみや）（会員）東京在住

「ジャガイモ1つください。バカ言うんじゃないよ！」

美味しいジャガイモ料理でしたが、さすがに3日間も連続で食べると飽きちゃいました。私好みの料理を作ってみたくなり、地元の大きなスーパーに奥さん家族と一緒に行きました。日本では見かけることのない食材や調味料が並ぶなかで、人だかりが並ぶコーナーがありました。



人だかりをかき分けると、そこには多種多様なジャガイモが・・・笑。僕もジャガイモを買おうと、1つ取って、買い物カゴに入れました。その瞬間、おじいちゃんが必死にロシア語でなにか伝えてきました。

※リトアニアでのスーパー
ジャガイモ売り場

奥さんに通訳をお願いすると、僕がジャガイモを1つだけ取ったコトに疑問を抱いたようです。おじいちゃんの指さす方向を見ると、「ジャガイモ1キロ〇〇€」と値札に書いてありました。そうです！リトアニアでは日本のように「カレーを作るから、ジャガイモ1つ買ってきて。」みたいな会話は生まれません。ジャガイモを買う単位は、1キロからです笑。

ジャガイモをダダーッと袋に流しこむ姿をみて、1年間でどれぐらい食べるのか気になりました。奥さんの答えは「うーん、ウチは8人家族だから、ひと冬で350キロぐらいかな」でした。衝撃的ですよね笑。ジャガイモ350キロですよ!?

さすが、ジャガイモ大国です。

※ジャガイモ売り場



「私が平和について思うこと」

三好 郁也（みよし ふみや）（会員）東京在住

ひと冬で350キロのジャガイモを食べる家族のオススメが「ツェペリナイ」と呼ばれるリトアニア料理です。リトアニアで最も有名な料理だと思えます。じゃがいもをマッシュポテトにしてから楕円のボール状に丸め、お湯で茹でます。マッシュポテトの中には炒めた玉ねぎとひき肉が入っています。

サワークリームと一緒に食べるのですが、本当に美味しかったです！材料的にはコロケと似ています。茹でているので、とってもモチモチです。飛行船（ツェペリン）に形が似ていることからその名がつけられたそうです。リトアニア料理レストランに行けば必ずと言っていいほどの定番メニューです。



※ツェペリナイ リトアニアの名物料理

皆さんもリトアニアを訪れることがあったら、ツェッペリナイを食べてみてください！

では、リトアニアのジャガイモ事情について現場からは以上です～！！

オーストラリアでの私の日本食事情

高山しの（会員） オーストラリア在住

2003年アメリカのミネソタにて結婚。2005年シドニー大学に就職しオーストラリアに移住。オーストラリア永住資格と同時にアメリカ永住資格を保持することの困難さから重国籍容認の必要性について考え入会。2006年長男誕生。2007年クィーンズランド大学に転職し、ブリスベンに転居。以来、ブリスベンで実母、夫、息子と暮らしている。



人気の日本食

オーストラリアは、アメリカと中国に次いで在留邦人が多い国なのだそうです。私が住むブリスベンはオーストラリア第三の都市で、ゴールドコーストという日本人に人気の観光地もあり、多くの日本人が暮らしています。そのせいもあって、一般のスーパーで日常に必要な日本の食材が手に入ります。

コアラのマーチやポッキーなど日本のお菓子などもスーパーに売っています。みそや醤油、料理酒、味醂も売っているので、照り焼きなどの簡単な日本食を作ることは苦労しません。

概して日本食は人気で、特に寿司やラーメンは都市の中心部では外食で食べられます。寿司は高級レストランから大学の学食まで幅広い値段域で利用可能です。それでも日本のようにスーパーで出来た寿司が売っているわけではなく（インスタントのラーメンは手に入りますが）、やはり突然食べたくなる時とか、一々予約入れてまでとかいう時もあります。



刺身グレードの魚で握った寿司

魚を食べる習慣がある人はあんまり多くはないようで、新鮮な魚が手に入らないという難点もありました。海辺にあるのに、どうしてだろうと思ったものです。最近では、刺身グレードと言って刺身で食べられる魚を売る店もちらほら現れ、自分で寿司を握って食べています。

無性に食べたくなる日本の香味野菜、そこで自家栽培に挑戦

そのような中、一番困るといえば、日本の野菜が食べたいなということでしょうか。野菜は、白菜や青梗菜はスーパーで手に入ります。椎茸などのキノコ類もスーパーに売っています。それでもやはり、日本のハーブ類、つまり紫蘇だとかミツバだとかですが、は入手困難で、自分で作るしかないということになります。



あんまり匂いのしない紫蘇

母は5年ほど前にオーストラリアに移住してきました。大根がない、きゅうりがなんか違う、紫蘇が食べたい、などと言い、インターネットで探してタネを探して大根や紫蘇の自家栽培を始めました。ところが、英語を読み間違っ肥料の分量を間違い、両手いっぱいくらい入れたらいいところ、丸ごと肥料を入れてしまっ家周りがやたらに臭くなりました。

虫もかなり寄ってきて、ブリスベンにはブッシュターキーという鳥が徘徊しているのですが、虫目当てにブッシュターキーが畑を荒らして、今度は畑の周りで蚊取り線香を炊くなどということになり、えらい目に遭いました。大根は完全に失敗しました。

ちょっと出た芽も、ブッシュターキーにやられました。やっと出来た紫蘇はどうも匂いがなくて、やはり気候が違うとダメなのか、などと感じています。



畑の敵ブッシュターキー（ヤブツカツクリ）
[ヤブツカツクリ - Wikipedia](#)

試行錯誤の末、成功したみょうが栽培



収穫された茗荷

ただ、茗荷は成功した方だと思います。日本食材屋でも最近は鉢植えになって売っています。他によもぎなども鉢植えで売っていますが、私はクィーンズランドの農家から苗を購入し、苗から育てました。オーストラリアは生物植物の持ち込みが厳格に規制されていますので、種などは現地で購入するのが一番なのですが、茗荷を苗から育てるとか、海外在住でなければ考えもしなかったでしょう。もっと日本の野菜を育ててみたいですね。会の中でも情報が共有できたらいいのに、と思います。

豊かな自然と野生動物たち

ブッシュターキーのみならず、ブリスベンには色々な生き物が野生で生息していますが、中でもポッサムは茗荷の宿敵でした。よく畑やハーブ園の収穫物を狙ってくるのですが、ポッサムから死守しながら茗荷を立派に育てた時は、達成感を覚えました。茗荷は素麺に入れて食べたりしましたが、もっと収穫できるようになったら漬物にしたい、と思います。やってみると、案外育てられるものです。



獲物を狙うポッサム
(フクロギツネ)

[フクロギツネ - Wikipedia](#)

ただポッサムは本当に厄介で、保護されているためしっしっと追い払うことしかできず（捕まえても数十メートル先で放すことになっているらしい）、ネットを張ってみたり、小屋の中に茗荷の鉢植えを入れてみたり、色々なことをしました。

このように、今も試行錯誤でどうにか日本の和食らしきものを家庭で手に入れようとしているところです。色々なことを繰り返していますが、これからも不便を楽しめるくらいの感覚で暮らしていきたいと思っています。

シュトッカーかほる（会員）スイス在住

1976年スイス人と結婚し兵庫県に住んでいました。ビザに関する情報を求めて1981年か82年に国際結婚を考える会に入会。昭和の終わった年、人生リセットのためスイスに移住し日系企業に就職。間もなく出会った彼（懲りずにまたスイス人）と再婚し、予期せぬ展開で二児の母に。夫が早期退職した2017年以来ヒッピー老人となり地球を歩き回っています。

ー かたいパン ー

戦争を知らない子供たちは今や立派なじじ・ばばになってしまいました。夫もわたしも世界中で吹き荒れた若者反乱の嵐をちょっと背伸びしてのぞき見た年齢層に属します。反乱真っ盛りの1968年、わたしは13歳、夫は14歳。にもかかわらず夫は全く渦中の人だったかのような自慢話をよくします。



当時の活動家の様子がテレビに映ると、あいつは「×××」とアジってたとか、なるほどなかなか詳しいのです。火炎瓶が飛び交う画面をなつかしく眺めながら、日本ではあの頃「戦争の苦労も知らない半人前が生意気なこと言うな」と大人によく言われて耳だこができた、それが歌にもなってヒットしたとわたしは紹介しました。すると、ぼくらも同じ目にあつたと夫は言うのです。

「古パンはhartじゃない、パンのないのがhartだ」と親や学校の先生にいやになるほど聞かされたそうです。ドイツ語でhartは「かたい」と「苦しい」の両方の意味を持つので、日本語で意味が通るよう説明すると「古パンがかたくてまずいと文句を言うお前らはパンのない苦しさを知らない甘ったれだ」になるでしょうか。敗戦国の日本と中立国のスイスという立場の違いにもかかわらず、戦後生まれは同じ頃同じような体験をしていたようです。

ヨーロッパ中が戦場だった時、スイスは中立と言えども決して豊かなオアシスだったわけではなく、攻め込まれたらひとたまりもないことを誰もが意識していたようです。今日はあっても明日はないかもしれないパンを大事にかみしめて終戦を迎え、その後も数年食糧の配給は続いたと義理母は言います。

シュトッカーかほる（会員）スイス在住

先日、新聞を読んでいたら「・・・わたしは『古パンはhartじゃない』と聞かされて育った者だから今の若い人たちが・・・」という一節に出くわしました。夫の育った町周辺に限られた言い回しだと思っていたので、夫自身もびっくり。ググってみるとスイスはもとよりドイツでも広く知られたことわざのようなものらしく、半人前のラベルを貼られた仲間は思ったよりたくさん居るようで、なんだか心強く思いました。

ある時帰宅した娘が「駅で大変なことを目撃した」と大騒ぎ。駅構内のパン屋の閉店時間に横を通ったら、いろんなパンをドサドサッとごみ袋に投げ込んでいたと言うのです。つい一瞬前まで立派な値札付きで棚に並んでいた、かたくなっていないパン。そして「これには絶対終わりが来る。怖い。」と娘は眉をひそめました。戦争を知らない子供たちに育てられた子供たちの反乱にわたしは期待します。



アルプスの少女ハイジも食べていたであろう黒パン。プーレブロート（=百姓パン）という名前通りドイツ語圏スイスの質素なふだんの食卓の友。どんなにかたくなってもひと昔前までは牛乳やスープに浸して食べていたとか。



昔の主婦は古パンを小さく切って乾かした物（=デュンクリ）を作りだめしていた。



ツォップ（=三つ編みパン）は日曜日や晴れの日の白パン。ハイジがたんすにため込んでいて叱られたのはこちらのタイプ。こんなパンを食べたことのない山のおばあちゃんへのお土産にするつもりだったのに・・・ふんわりモチモチに焼けたツォップはお料理上手の証しで、これは義理の妹がクリスマスの晩餐に供した自信作。



デュンクリがたまったら作るアップフェルローシティ（=りんごと古パンの、ほのかに甘いお好み焼き）は典型的なおばあちゃんの味。近年こういうエコ料理が若者の間で人気らしい。価値観変革の兆しか？

米南東部の都アトランタから

マロニー名子（めいこ）（会員）アトランタ在住

<プロフィール>

東京・日本橋生まれ。1976年に交換留学で東京に来ていたアメリカ国籍（ニューヨーク市生まれ、シカゴ育ち）の夫と大学で知り合い、1981年に東京で結婚。1989年に渡米以来アトランタに在住。1992年に生まれた一人娘はサンディエゴ交響楽団のバイオリニスト。

ジョージア州とアトランタってこんな所

日本人にとって、アトランタといえば、古くは『風と共に去りぬ』の舞台、今はCNNの本拠、コカ・コーラやデルタ航空、野球ファンにはブレーブスの本拠地というところでしょうか。

1989年に東京からアトランタ市内のバックヘッド地区に越してきた時、最初に吸った空気が「軽井沢みたい！」でした。森の街らしく高原の空気感で都会育ちの私を避暑地にいる気分にしてくれて、当時病み上がりだった私には最適な土地でした。



小学5年生で初めて『風と共に去りぬ』の翻訳本に出会い、恋愛小説というより歴史小説として夢中になった私は、一方で『アンクル・トムの小屋』も熟読し、つまり私にとって南北戦争（＝外国の内戦）は戊辰戦争などよりずっと身近なものでした。



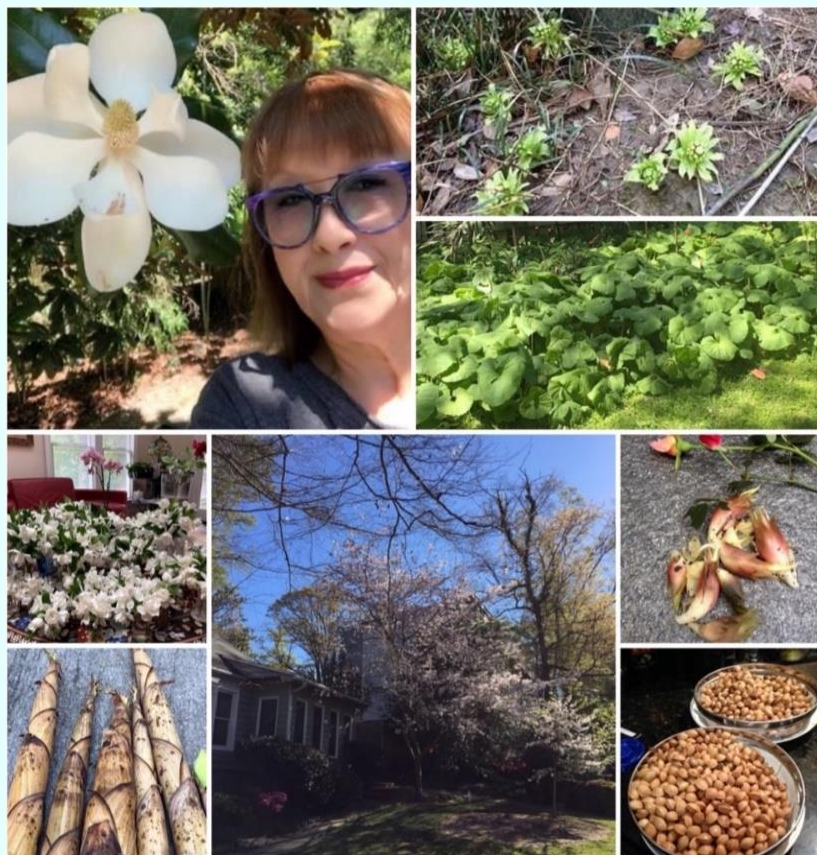
中学2年生の時に従兄が海外出張から買って来てくれた『風と共に去りぬ』の原書が人生で初めて読破した英語の本になりました。

森の街 アトランタ、家も道路も交通渋滞もあるけれど上からは高層ビルしか見えません。

大学で英語科に進んで米国史に首を突っ込んだのも『風と共に去りぬ』がベースにあったから。その後夫の仕事でこの地に移住することになったのはなんとも奇遇です。

米南東部の都アトランタから

マロニー名子（めいこ）（会員）アトランタ在住



ジョージア州は独立13州の最南州。その北西部に位置する州都アトランタは四季があって松の木が多く日本人には馴染みの深い植物ばかり。1月末に沈丁花が匂い始め、梨－梅－桃－木蓮－桜－花みずき－藤－ツツジ－石楠花と咲き続け、そのあとクチナシ、そして南部の花、大輪のマグノリア。私の裏庭では毎春真竹の筍が400本ほど採れます。筍と同時に山椒が「木の芽」を吹きます。露も紫蘇も生い茂ります。

南部の花、大輪のマグノリア（なかなかサイズを実感してもらえないので、はしごに登って撮ったものです） / 2月に顔を出す露の臺 / 広がる一方の露 / いつも出てくるのが待ち遠しい茗荷 / 近所で拾ってくる銀杏 / 我が家の前庭のソメイヨシノ / 裏庭の真竹の筍 / いくら花瓶があっても足りない毎年狂い咲きのクチナシ

秋には競争がゼロなので近所で銀杏が拾い放題、ファーマーズマーケットに行けば蓮根、牛蒡、長芋、春菊など一年中入手できます。

全米を見回してもこれほど自然と食材に恵まれた都市はないと思います。ジョージア州の州歌はなんとも粋なことにレイ・チャールズの『我が心のジョージア』（Georgia On My Mind）です。

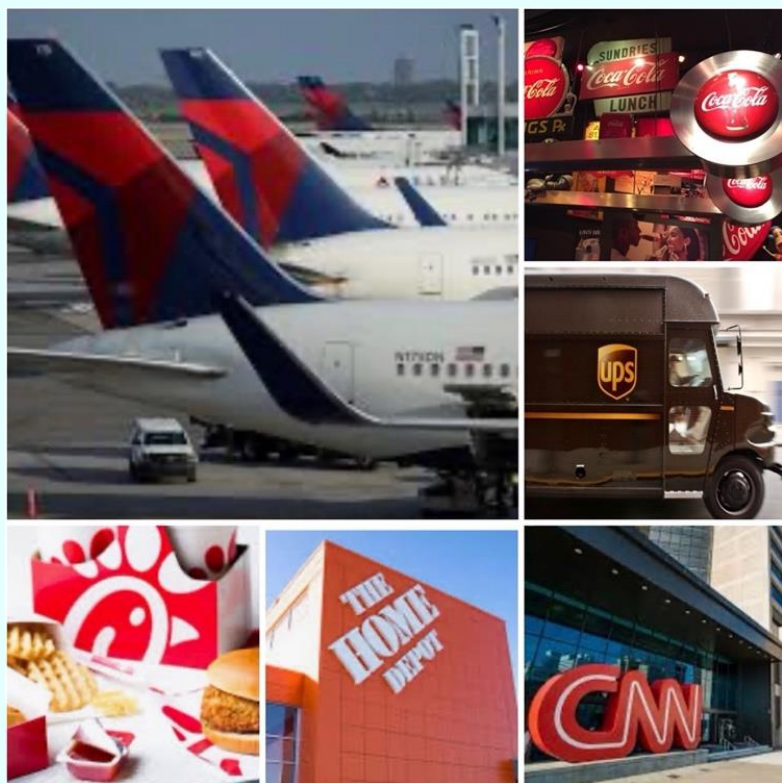
発展を続けるアトランタに暮らして

アトランタ都市圏のGDPは全米でずっと10位前後。昔からの「南部の都」という地位は不動のようですが、この30余年でずいぶん変わったこともあります。越してまもなくの90年には1996年のオリンピック招致が決定し、万年ビリだったブレーブスも勝ち始めました。

1964年の東京オリンピック前後の東京の激変ぶりを鮮明に憶えている私には、街の躍進を渦中で再び体験できたことは幸運でした。その後もアトランタは着々と発展、拡大して、ITや娯楽産業でも順調、元気な土地といえます。

米南東部の都アトランタから

マロニー名子（めいこ）（会員）アトランタ在住



かたや私が転出してきた頃の日本はバブルの真っ只中。殆どの日本の銀行はアトランタに支店を持ち、JALも成田-アトランタ直行便を毎日運航、一等地に日航ホテルを新築したのもこの頃。当然出張してくる人も多く、接待用の高級日本食レストランが多数ありました。日本総領事館はミッドタウンの超一流ビルの広いスペースに陣取っていました。他の大都市と違い日系移民社会が無いので、在留邦人は駐在員家族、留学生、国際結婚でたまたまここにいる人たち等ですが、当時私の母校の

アトランタを本拠とする企業。
左上から時計回りにデルタ航空、コカコーラ、UPS、
CNN、ホームディーポ、チックファイレイ。
UPS以外はアトランタ発祥。

同窓生が集まった「アトランタソフィア会」には働き盛り年代の50人以上の会員がいました。小さな大学なのに、それだけ日系企業がアトランタに進出していたということです。

それが、90年代のバブル崩壊とともに銀行は全てニューヨーク市など他支店に統廃合という形で撤退、運輸業、保険業なども撤退、日航ホテルはグランドハイアットに、JALの直行ルートはデルタ航空が引き継ぎ、高級日本食レストランは次々と廃業に追い込まれ、邦人社会は縮小しました。総領事館もあの立派なビルから転出して転々、今も一等地とはいえ当時に比べると見る影もない小さなスペースにひっそりとおさまっています。私自身は娘が1992年に生まれて忙しくも楽しく、オリンピックに向けての街の高揚もエンジョイしていたので、落ち込む暇もありませんでしたが、思えばアトランタの発展と日本の国力の衰退を同時に目の前に突き付けられていた感じです。「アトランタソフィア会」も自然消滅しました。

米南東部の都アトランタから

マロニー名子（めいこ）（会員）アトランタ在住



このようにアトランタ市の発展に反比例して日本の存在が薄くなってきた感はありますが、南東部諸州（アラバマ、ノースカロライナ、サウスカロライナ、ジョージア）に範囲を広げると現在事業拠点を置く日本企業は未だに1400余りあって、全カリフォルニア州の約2000社に比べてもひけを取らないことがわかります（2020年統計）。

土地が広く、物価・人件費が比較的安く税制なども企業に有利なことで製造業が進出しやすい条件が揃っています。

世界一乗降客の多いアトランタ国際空港

デルタ航空が毎日羽田-アトランタ直行便を飛ばしているのも、アトランタ市内の人より世界一乗降客の多いアトランタ国際空港で乗り継ぐ人が多いから。南東部というと、日本から見たら太平洋の向こうの更に北米大陸の向こう側で遠い印象ですが、デルタ直行便のおかげで13～4時間の飛行時間で行き来できるありがたさ。

日本人と意外と近い南部人気質、住み良いアトランタ

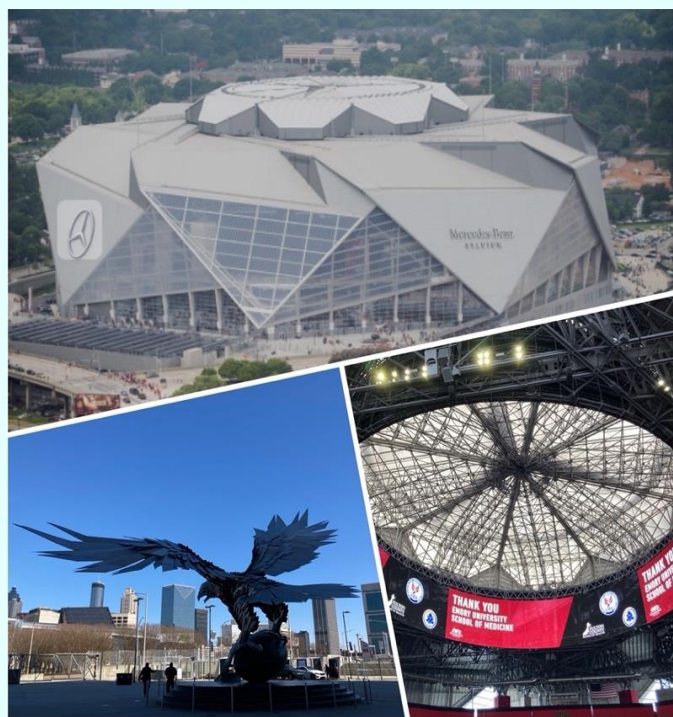
地理的には遠い南東部ですが、実は地元の人には日本人と相通ずるところがあります。その根底にあるのは今更ながら南北戦争。アメリカは常に世界のどこかで戦争しているような国ですが、自分の住む土地が戦場にされ焦土と化した敗戦の民としての歴史を持つのは全米の中でこの地域の人達だけです。そして「勝てば官軍、負ければ賊軍」の悔しさがわかる人たち。

戦前の日本人が全て「帝国主義者」だったわけでもないのと同様、南部の白人が全て奴隷を所有したりレイシストだったわけではない。それでも私が南部にいるというと、日本人だけでなくアメリカ人からもそちらは人種差別が酷いのでしょうか？などと未だに言われます。私に言わせればそれは真逆。

米南東部の都アトランタから

マロニー名子（めいこ）（会員）アトランタ在住

ずっと白人と黒人が混じって生活してきた土地なので、混在・共生するのに慣れている。時に喧嘩もするけれど、お隣さん同士としては結構うまくやっている、という関係。マーティン・ルーサー・キング・ジュニア牧師がアトランタから現れて公民権運動の中心地となったのも偶然ではないのです。私はこの33年の間に2年間シカゴ市内に住み、そこが人種だけでなく民族でも分かれて住んでいる社会、「最も人種隔離された大都市」と呼ばれる意味がよくわかりました。その後も娘が音楽の勉強・仕事の関係で、ポストン―ニューヨーク市―ロサンゼルス―マイアミと移り住むのに付き合っただけで動き回ってききましたが、アトランタほど人種間の緊張感が薄いところはないかも、と思います。



越してきて間もないころ、北部生まれ北部育ちの夫（いわゆるヤンキー）と街を歩いているとずっと黒人男性が寄って来る、そんな時隣りの夫が一瞬身構えるのがわかるのですが、なんのことはない、ただ道を訊かれるだけなのです。

ニューヨーク市やシカゴの街中で周りに大勢黒人がいるのにわざわざ真っ白な白人とアジア人のカップルに道を訊いてくる黒人なんていない（と思う）。フードコートでランチしていると黒人のおばさんが私たちのテーブルに突進して来るので一体何かと思いきや、「そのポテト、美味しい？どのお店から？」、私がとっさに、「Yeah, wanna try?」

アトランタ・ファルコンズのホーム、メルセデス・ベンツ・スタジアム。レディ・ガガやビヨンセのコンサートもここで

（「美味しいよ、食べてみる？」）と差し出すと、「Oh, thanks!」（「あら、ありがと！」）とにっこりつまんで頷いてその店に向かって行きました。目の前で凍り付いていた夫はこんな風に人種関係がリラックスしてるのは楽でいいなあ、と呟いていました。これは今でもニューヨーク市やシカゴなど他の都市にいると感じる事です。そもそも視界の中に異人種がいてもお互い見えないフリをしている社会。アトランタでは通りすがりやレジの列の前後でも、ずっと会話が始まります。

米南東部の都アトランタから

マロニー名子（めいこ）（会員）アトランタ在住

そんなこんなでアトランタは居心地のいい所で、私たち同様初めは仕事で移って来たけれどそのまま永住してしまうニューヨーク市やボストン、シカゴなど北部都市からの移住者（Transplants）がとても多い街。（そのせいかさりげなくドアを開けてくれたりするサザン・ジェントルメンの割合が以前よりぐっと減りました。）黒人も実際にはこちらの方がビジネスチャンスが多いので北部からどんどん移動してきます。ハリウッド同様天候がよく綺麗な上にコストは低いので、映画のロケ地にもよく使われて、芸能関係者の流入も多いです。それがつい最近の中間選挙の結果からもわかるように左傾化している一因でしょう。そのおかげで全く迷惑なことに北部の左派都市同様に犯罪も急激に増加の一途です。

『風と共に去りぬ』の中のピティパット叔母さんの”[Oh dear...Yankees in Georgia! How did they ever get in?](#)”（「あらまあ、ヤンキー（北軍）の奴らがジョージアに?! 一体どうやって入ってきちゃったの?」）のセリフが聞こえてきそうな昨今ではあります。



アトランタにいくつかある大規模なファーマーズマーケット。アジア、ラテンアメリカ、中東など世界中の食材がここで手に入る。アトランタには本当に色々な人がいるのがよくわかる場所。

スウェーデン、現金が使われない日常

オロフソン優子（会員）スウェーデン在住

プロフィール

1987年からスウェーデン在住。20余年勤務した知財コンサル会社を退職した後、現在はフリーランスの実務翻訳者として活動しています。息子二人はすでに成人。スウェーデン人の夫と柴犬と暮らしています。大阪市出身。

今や紙幣、硬貨は過去のもの

「海外便り」ということで、何をテーマに取り上げたらいいものかと頭をひねりました。かれこれスウェーデンに住んで35年、日本に住んでいた年数を超えてしまい、現在の生活があまりにも「普通」になっていて、「へえ〜、スウェーデンの生活ってそうなんだ」という事柄がなかなか浮かんでできません。

それで、日常生活を振り返ってふと頭に浮かんだのが、「今やスウェーデンでは現金を使うことがほとんどなくなった」ということ。

そう、スウェーデンは「キャッシュレス社会」なのです。キャッシュレスの生活にすっかり慣れてしまって、日頃特に疑問に思うこともないのですが。

少し前までは多少の現金も私のお財布の中に入れていましたが、今は全く紙幣はなく、細かい硬貨が少し残っているだけ。息子たちは、財布さえ持っていません。小型のカードケースとスマホがあれば十分なようで、、、

90年代に始まり、その後急速に進んだキャッシュレス化



スウェーデン紙幣

それで、このキャッシュレス化なんですけど、私がスウェーデンに移住した頃は、もちろん日々の支払いも現金でした。今では考えられないでしょうが、現金の代わりに小切手を切るなんてことも、たまにはありました。90年代になって、銀行カードが普及し始め、ここ10年の間に、一挙にキャッシュレス化が進んだように思います。10年前には、国民の約40%の人が現金を利用していたのに、今では、現金利用者は10%以下だそうです。

スウェーデン、現金が使われない日常

オロフソン優子（会員）スウェーデン在住

キャッシュレス化が進んだ背景にはいろいろな要因があると思いますが、国や銀行がキャッシュレス社会を後押ししたことが一つだと思います。

キャッシュレス化が進んできたときに最初に戸惑ったのが、それまで現金を取り扱っていた大手銀行が、現金の取扱いを制限したことです。当初は「あれ～、困ったなあ～」と思いましたが、「慣れとは恐ろしいもの」。私の場合、今や銀行に赴くことがほとんどなくなりました。各種請求書などの支払いは、以前からインターネットバンクを使ってパソコンで済ますようになっていましたが、今ではスマホで済ませることもあります。

ただ、現金サービスを必要とする高齢者や移民もいるので、これらの人々の社会生活を排除しないためにも、一定規模以上の金融機関では、現金の引出しや預入れといったサービスは引き続き義務付けられているようです。



数少ない現金引き出しATM



鉄道の切符購入

支払いはカード、スマートフォン決済アプリで

そして、公共交通機関も現金取扱いが難しくなっている今日、車内でチケットを買ったり、現金で支払ったりすることは、ほぼなくなったと言えるのではないのでしょうか？

日常生活での支払い手段は、大抵はデビットカードやクレジットカードです。カードでの支払いは、基本PIN入力方式ですが、これも減少傾向にあって、とりわけ、新型コロナ発生以降、端末にタッチするだけで決済できる「コンタクトレス決済」が非常に多くなってきたように思います。

スウェーデン、現金が使われない日常

オロフソン優子（会員）スウェーデン在住

ちなみに、現金を持ち歩いていると、ひったくりなどにあう危険がありますが、キャッシュレス社会だと、現金を持ち歩く必要がないため、こういった被害に巻き込まれる恐れは少なくなります。ただ、現金を狙った強盗事件は、統計上は減ったものの、今は「カード詐欺」といった、キャッシュレス社会ならではの新しいタイプの犯罪が増加してきたのも事実。

また、ちょうど10年前にスウェーデン国立銀行と大手銀行6行が共同で開発したスマートフォン決済アプリSwishの出現が、キャッシュレス移行に大いに寄与したと言われています。Swishは、携帯電話番号と個人認証システム（Mobil Bank ID）を紐づけ、送金先の電話番号を入力して、自分の銀行口座から相手の銀行口座に送金できます。

例えば、私がSwishを使い始めたのは、職場で、それまで皆から少しずつ現金を集めて同僚へのプレゼントを買っていたりしていたのが、誰か一人がプレゼントの代金を立て替えて、後で自分の負担分をその人にSwishで支払うということになったからです。このように、個人間での送金を中心だったSwishの使用は急速に増加しました。2020年には、スウェーデン人口約1,000万人のうち約740万人がSwishを利用していたそうです。

最近では、フリーマーケットや寄付金なども、電話番号と金額を入力して簡単にSwish決済できるようになってきました。

Swish決済



このように、とても便利なキャッシュレス社会なのですが、有事に備えて、ある程度の現金を備えておくことの大切さも見直されています。実際、ロシアのウクライナ侵攻後、スウェーデンのATMでは、通常より多くの現金が引き出されたとのことです。

「eクローナ」（法定デジタル通貨）の導入も検討されつつあるこの国で、キャッシュレス化は、試行錯誤しながらどこまで進んでいくのでしょうか？



《 国際家族のレシピ紹介 》

おひとり様レモンカード

やよい（会員）ハワイ在住

<プロフィール>

現在「アメリカン・ハワイアンお菓子教室Schatz」のオンライン講師
Wilton社公認ケーキデコレーション講師、日本の製菓衛生師

★レモンカードはトーストやマフィンにぬったり、カップケーキの上にもおいしいです。たくさん作って食べきれないよりも小瓶ひとつに収まる分量になっています。お早めにお召し上がりください。（冷蔵庫で1週間が目安）



材料：

全卵（L） 1個
グラニュー糖 50g
塩 一つまみ（人差し指と親指でつまむくらいの少量）
レモン汁 40g
無塩バター 20g（室温に戻す）

<作り方>

1. 小鍋に全卵、グラニュー糖、塩、レモン汁を入れてホイッパーで混ぜる。
2. 木べらに持ち替え、中弱火にかけて、かき混ぜ続ける。（4-5分くらい）だんだんと重くなってきてトロツとしてくる。
（木べらで真ん中に筋を入れたら写真右のようになる状態）



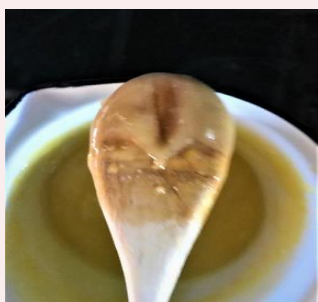


《 国際家族のレシピ紹介 》

おひとり様レモンカード

やよい（会員）ハワイ在住

3. 木べらの背に生地を取って木べらの先から手前にすっと指で線を引いてみて、線がかけるところまでとろりとしたら濾す。（全卵を使っているため必ずここで濾すこと。目の細かいザル等が望ましい。より滑らかな仕上がりになる。写真のザルは目が粗いものです）



4. 室温に戻したバターを加えて混ぜる。
（少し緩みますが大丈夫）



5. 清潔な瓶に移し替えて冷蔵庫で保存する。（Weckの小さいガラス瓶でぴったり。今回は小さいマスタードの瓶（内容量113g）1つ分の量でした）



☆やよいさんの「アメリカン・ハワイアンスイーツ」がオンラインで学べます。↓気になる方はクリック！

[ハワイから学ぶ、アメリカン・ハワイアンスイーツ
レッスン \(peraichi.com\)](https://peraichi.com)

会の活動にご協力いただいている東弁護士におすすめMovieをご紹介します。必見です！

東 奈央 (あずま なお)

2008年弁護士登録（大阪弁護士会所属）

高齢者障害者総合相談センター（通称ひまわり）副委員長。

日弁連・障害者差別禁止に関する特別部会委員として障害者差別をテーマに活動。弁護士活動としては、ホームレス生存権訴訟、吹田市公務員欠格条項違憲訴訟等に関与。

■ 「RBG最強の85才」 (2018年・アメリカ)



「RBG最強の85才」 (2018年・アメリカ)

監督・製作：ジュリー・コーエン、ベツツイ・ウエスト

[映画『RBG 最強の85才』公式サイト \(finefilms.co.jp\)](http://finefilms.co.jp)

[\(138\) 『RBG 最強の85才』本編映像解禁 - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=138)

国際結婚を考える会の皆さんの中には、ご覧になった方もたくさんいらっしゃるかもしれません。

通称「RBG」の名で知られたルース・ベイダー・ギンズバーグ (Ruth Bader Ginsburg) 最高裁判事のドキュメンタリー映画です。RBGの、聡明で可愛らしい雰囲気がスクリーンを通して垣間見えます。

RBGは1933年にニューヨークで生まれ、2020年に87歳で亡くなりました。世界で最も有名な女性裁判官といっても過言ではないでしょう。子育てをしながらロースクールで学び、ハーバード大学を主席で卒業したけれども、当時はアメリカも女性差別の時代。就職にも困難が立ちました。夫の病気などの苦労を重ねながら、性差別に関する裁判に次々と挑戦し、勝訴を重ねました。

会の活動にご協力いただいている東弁護士におすすめMovieをご紹介いただきました。必見です！

東 奈央 (あずま なお)

1993年、当時のクリントン政権下で最高裁判事に指名され、以後、2020年まで輝かしい功績を残しました。特に有名なのは、女性の入学を認めない入学方針が、アメリカ合衆国憲法修正14条（平等原則）に違反すると認定した、「United States v. Virginia」（バージニア州立軍事大学裁判）です。

三権分立のもと「司法権の独立」（憲法76条）確立している日本とは異なり、アメリカの最高裁判事の人事は大統領が指名する仕組みのため、時の政権や思想が最高裁人事にも色濃く影響します。RBGが亡くなったのはトランプ政権の任期終了まであとわずかというタイミング、トランプがRBGの後任として誰を指名するかが話題となりました。

2022年時点でもジェンダーギャップ指数が世界116位（146カ国中）の日本、彼女の姿勢や裁判例から見習うところがたくさんあると思われます。若き日のRBGを描いた映画「[ビリーブ 未来への大逆転](#)」（2018年）もオススメです。

※動画配信（参考）



■ 「護られなかった者たちへ」（2021年・日本）



■ 出 演：
 佐藤健 阿部寛
 清原果耶 林遣都 永山瑛太 緒形直人 吉岡秀隆 倍賞美津子
 ■ 原 作：中山七里「護られなかった者たちへ」（NHK出版）
 ■ 監 督：瀬々敬久『64-ロクヨン-前編/後編』
 ■ 脚 本：林民夫『永遠の0』・瀬々敬久
 ■ 音 楽：村松崇継『思い出のマーニー』
 ©2021映画「護られなかった者たちへ」製作委員会

[\(138\) 映画『護られなかった者たちへ』特報 \(ロングver.\) - YouTube](#)

会の活動にご協力いただいている東弁護士におすすめMovieをご紹介いただきました。必見です！

東 奈央 （あずま なお）

2022年8月に飛行機の中で見ました。日本で最近人気の俳優が出ているという程度の認識で、全く期待せずに見ましたが、とても考えさせられる映画で、自分の心の中に残る最近のヒット作になりました。

東日本大震災後10年目の仙台で、連続殺人事件が起きました。被害者は人格者と言われるような人たちばかり。警察の捜査線上には、服役を終え、刑務所から出所したばかりの男性・利根（佐藤健が演じる）が犯人候補者に挙がり・・・という内容です。倍賞美津子さんの演技が素晴らしかったです。

そして。この映画のテーマは、震災、貧困、生活保護です。丁寧に取材して作品を作ったことが想像されました。

私も貧困問題に関わることが多く、貧困の連鎖、生活保護行政の課題等に出会う場面が少なくありません。2011年3月11日当時は東京に住んでおり、福島へ被災者の法律相談に行くなどもしましたが、家族や大切な人、そして住居を失った人々を前に、「たまに行く訪問者に過ぎない自分には何もできない」と、無力感を認識したことを思い出しました。

日本の憲法では「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障しており（25条）、その権利を具体化したのが生活保護法です。現実には、生活保護申請のハードルが高い人が多いです（心理的にも環境的にも）。経済格差や教育格差が広がる日本における貧困問題を改めて考えました。

※動画配信（参考）



原作：[護られなかった者たちへ（宝島社文庫）](#) | [中山七里](#) | [本](#) | [通販](#) | [Amazon](#)

解説 “どんでん返しの帝王”の異名をとる中山七里の同名小説を実写映画化したサスペンスドラマ。東日本大震災から9年後の宮城県を舞台に、凄惨な連続殺人事件の容疑者と彼を追い詰める刑事の姿を映し出す。主演の佐藤健をはじめ、阿部寛、清原果耶、倍賞美津子、吉岡秀隆、林遣都などの豪華キャスト陣が集結。『糸』の瀬々敬久が監督を務めている。

国際結婚を考える会 | 会報誌第10号 | 2023年1月31日発行

会の活動にご協力いただいている東弁護士におすすめMovieをご紹介いただきました。必見です！

東 奈央 (あずま なお)

■「人生、ここにあり！（原題：Si Puo Fare）」（2008年・イタリア）

監督：ジュリオ・マンフレドニア



『人生、ここにあり！』予告編 日本版 - Bing video

1980年代のイタリア・ミラノが舞台の映画です。

欧米でも、古くは精神病を抱える人を隔離収容する政策がとられていましたが、1960年代頃から、そうした収容政策からの大展開が図られていきました。イタリアでは通称バザーリア法（1978年）によって、新たに精神病院を建てることや新規に入院することが禁止されました。現在は、総合病院の精神病床はあるけれども単科の精神病院はなく、地域にある精神保健センターに滞在型ベッドが用意されるなど、様々な工夫がされています。

バザーリア法施行により、精神病棟が閉鎖され、入院患者は地域のグループホームなどで暮らし始めました。そして、元入院患者らで構成される協同組合で、仕事や活動などが様々に展開されていきました。

働くことも何もできない存在と看做されていた元入院患者らが、自分たちのアイデアで、自分たちが決める形で、仕事や活動をしていく。失敗もあるかもしれないけれど、「やればできるさ！（Si Puo Fare!）」と、奮闘をしていく姿が、コメディタッチで描かれています。

日本は、欧米の政策の流れに逆行して、1960年代から精神科病床をたくさん増やし、今では精神科病院や病床の数が世界ダントツと多い国です。隔離収容型社会の背景には、多様性を認めない文化や、家族が様々な重荷を背負わされている社会構造が背景にあるかもしれません。すぐには、イタリアのように地域生活を実現することは難しいかもしれませんが、そうした発想を、日本にも取り込んでいくことができればと願っています。

※動画配信（参考）



◎ JAIF西日本イベント 交流会

10月28日(金)紅葉が始まる秋の京都でランチと散策の交流会。

10月末の京都にしては温かくお天気にも恵まれ、バルコニーから東山の大文字焼が見える京都の会員宅で西日本交流会をしました。

大阪、京都に住む会員5名が集まりました。子供をバイリンガルにするには？住む国の選択の仕方は？などと話はずみしました。会員宅から徒歩で7,8分の真如堂に行きそこから裏道を通って哲学の道にでました。途中、隠れ家的な町屋アートギャラリーに立ち寄りしたりしました。紅葉にはまだ早かったですが、観光客も少なく、静寂な京都を満喫しました。



◎ 第7回海外会員オンラインお茶会(親睦会)

欧米時間11/18(金)、日本・アジア・豪州時間11/19(土)に開催。

アメリカ6名、ドイツ2名、フランス1名、スウェーデン2名、オーストラリア2名、日本1名の合計14名が集まり、盛況となりました。

前半は、全員が約5分ずつ順番に、自己紹介と、今回のテーマの国際結婚をしてよかったことは……損したことは……困ったことは……その他、聞いてみたいことや、コメントなどをシェア。後半は4つのグループに分かれて話をしました。最後にメインルームに戻り、グループでの話の報告をしました。

◎ 若い国際家族が知りたいことは？(オンラインイベント)

12月11日(日)日本時間午後3時、米国東海岸午前1時、ドイツ、フランス、スイス、スウェーデンなど午前7時、英国午前6時、米国西海岸 12月10日(土)午後10時

国際結婚は今後も増えていくことが予想されます。今回は若い国際家族が関心を持っていることを中心に情報・意見交換の場を企画いたしました。

参加者13名のうち、「若い国際家族」の方が4名参加。(非会員も含む)

イベント開催の前に「国際家族として知りたいことは？」というアンケートを実施し「若い国際家族の課題」とし関心の高かった以下のトピックを中心に三つのグループに分かれて意見交換をしました。

①家族や親戚関係の課題

②子供の言語/バイリンガルに関する課題

③居住国やパートナーの言語に関わるコミュニケーションの課題

今回は「若い国際家族」をテーマにした第一回目のイベントとし、来年もイベントを企画したいと考えております。今回のお話に基づいて次回のテーマを検討し、アンケート結果からも、皆さんに役立つ提案をしたいと思っております。

◎ 無国籍と複数国籍～国籍とは何か？ オンラインイベント

1月14日(土)日本時間午後9時、ドイツ、フランス、スイス、スウェーデンなど午後1時
英国正午、米国東海岸午前7時、米国西海岸午前4時

参加者52名(非会員も含む)

講師 陳天璽さん 横浜中華街出身、早稲田大学教授。NPO法人「無国籍ネットワーク」代表理事。「無国籍と複数国籍」、「にじいろのペンダント」などの著者。

日本では、誰でも一つの国籍を有するべきと思われています。しかし、私たちの周りには無国籍の人や複数国籍の人もたくさん暮らしています。陳さんは30年間無国籍のまま暮らしていました。なぜ無国籍になったのか、その原因、研究を通して明らかとなった無国籍の実態、国籍法11条1項により国籍を剥奪された人々のケースなどを紹介されました。国籍に翻弄された人々を通して、『国籍とはなにか？』を再考しました。

| 編集後記 |

2020年コロナ禍の猛威で世界が震撼している最中、JAIFの再出発と会報誌が発刊しました。当時は何かしなければという気持ちでだけで参加させて頂いた自分でした。オンラインイベントでは新しく世界中の会員の皆様とつながることが出来るようになりました。それと同時に会報誌で文字に残して会の記録にしていく大切さも実感しました。第10号まで編集にご尽力して下さった係の皆様、寄稿くださった会員の皆様に心より感謝申し上げます。これからも会員の皆様のご協力のもと会報誌を発行していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

コールマンひろみ



会報第4号と第6号に寄稿したことがきっかけで編集に関わってみませんかというお誘いを受け、第7号から編集に参加し、計4回会報誌を送り出すことができました。私は米国在住なので編集会議がいつも早朝なのですが、毎回和気藹々と進む話し合いを通して元気を分けていただいている気持ちでした。特集や連載についてたくさんの意見を取り上げていただき、私の発案でレシピ紹介の連載が始まったのがちょっと自慢です。編集作業を通して会の大先輩たちの知己を得ることができたことも貴重な経験となりました。

清麻桐



会報2号から10号まで会報係をやらせていただきました。この間、会員の皆様には、たくさんの投稿をいただき、ありがとうございました。私は10号で会報係を降りますが、毎月のズーム会議が楽しかったのが、いい思い出です。新しい会員が会報作りに参加して、会報を存続させてほしいです。

小暮朋子



2020年10月に40周年記念誌&会報誌第1号を発行、とうとう第10号となりました。多くの方にご寄稿していただき深く感謝しています。編集作業は各担当が執筆者と連絡を取り合い、校正を重ね、レイアウトを組み再度校正し最終版が出来上がります。会議をなんども重ねチームワークは最高でした。これからは発行体制が変わっていきませんが、会報誌は後世に残るものとしてアーカイブされることでしょうか。微力ながら参加できて光栄でした。これからも多くの課題に取り組みながら交流を深めていける媒体になれると思います。2023年がみなさまにとって素晴らしい年になりますように。ありがとうございました。

カマーゴ・李 栄



編集後記

会報が電子版になり、イギリスからも会報作りのお手伝いをする事ができました。会がJAIFとして再出発後、会報編集をとおして多少なりともお役にたてたことは幸いです。ホームページが主役なら、会報も会員の皆様の声を反映させる大切な脇役だと思います。会報は皆で作るものを目指してやってきましたが、これからも皆様からの投稿をお待ちしています。



ハワード弘子

今月号より編集を担当させて頂きました。ボクの周りには、国際結婚をしている人が少ないので、会報誌を通じて、色々な国際結婚の姿が見えるのはとても心強いです。きっと、国際結婚を考える会の運営メンバーの中では、最年少だと思うので、若さパワーで今後も頑張ります！よろしくお祈りします！



三好 郁也

次回予告 | 会報誌第11号 (2023年07月31日発行予定)

特集：●『世界を旅する国際家族』



会報も今回で11号となります。現在、JAIF会員の半数以上は海外在住者です。会員の皆さまが暮らしている国のオススメ観光スポットの紹介やご自分で行って良かった観光地のレポート、面白い文化やお勧めのお土産や観光をテーマにご紹介ください！写真などがありましたら、それも添付ファイルで送ってください。

初めての方も書きやすいテーマだと思いますので、奮ってご投稿お願いいたします。きっと、国際色豊かな会報になると思います。

締切は、**2023年5月31日(日)** ごろです。よろしくお祈りします。会報係新メールアドレスはこちらです。edit@kokusaikazoku.com

コールマンひろみ、清麻桐、三好郁也